

シンポジウム

詩歌の現在 詩・俳句・川柳・短歌がめざすものー

現在、第一線でご活躍の詩人、俳人、川柳作家をお招きし、4つ詩型の交流から詩歌の現在と目指すものを考えます。

主 催：横浜歌人会

開催日：2011年7月31日（日）午後1時

会 場：かながわ県民センター301会議室

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2（横浜駅下車徒歩5分）

シンポジウム

【シンポジスト】

坂井信夫（横浜詩人会前会長）

山本一步（横浜俳話会会長）

二宮茂男（横浜文芸懇話会幹事）

吉野裕之（横浜歌人会副代表委員）

【コーディネーター】

千々和久幸（横浜歌人会代表委員）

*シンポジスト、コーディネーターの略歴は、次ページをご覧ください。

参加費：千円（当日にお支払いください。飲み物あり）

申込み方法：横浜歌人会ホームページの申込みフォームにより送信ください。

・横浜歌人会ホームページ <http://yokohama-kk.web.infoseek.co.jp/>

【シンポジスト】

さかいのぶお

坂井信夫（横浜詩人会前会長）

1941（昭和16）年、満州国新京市にて出生。中央大学仏文科卒。詩誌『あぼりあ』『あんかるわ』『詩的現代』その他で活動。これまで詩集23冊を刊行。編著に『カミュ』の肖像』『眼の光 画家・島村洋二郎』など。『冥府の蛇』にて小熊秀雄賞受賞。現在、個人誌『索通信』発行、『ERA』同人。所属は横浜詩人会（前会長）、日本キリスト者詩人会（副会長）。

やまもと いっぽ

山本一步（横浜俳話会会長）

昭和28年11月28日、岩手県生まれ。昭和48年、職場の句会「水引」に参加、俳句をはじめ。昭和52年、小林康治に師事。「泉」「林」を経て平成5年、「笏」創刊。平成8年、作品「指」により第42回角川俳句賞受賞。句集に『一葉』（昭63）『耳ふたつ』（平10・第23回俳人協会新人賞）『一楽』（平18・第10回横浜俳話会大賞）『神楽面』（平23）がある。現在、「笏」主宰。横浜俳話会会長、俳人協会会員、日本文藝家協会会員。

にのみやしげお

二宮茂男（横浜文芸懇話会幹事）

1936年生まれ。川柳「路」吟社幹事。横浜文芸懇話会幹事。二宮川柳会講師。新葉館WEB川柳句会選者。著書に川柳絵句集『この指にとまって幸せだったかい』（2004年新葉館出版）川柳句集『川柳作家全集 二宮茂男』（2009年新葉館出版）など。

よしのひろゆき

吉野裕之（横浜歌人会副代表委員）

1961年生まれ。母方の先祖代々、根岸に暮らす（ただし20代の8年は福岡で修行）。加藤克巳に師事、光栄堯夫に兄事。1986年、「桜狩」に入会（2011年退会）、1988年、「個性」に入会（2004年解散）。2002年、短歌ユニット[BLEND]を始動（2007年解散）。歌集に、『ざわめく卵』（砂子屋書房）『博物学者』（北冬舎）など。俳句の実作や評論、また、「アトリエ云」名義でデザインやアートの活動も展開。

<http://homepage3.nifty.com/hiro1961/>

【コーディネーター】

ちちわひさゆき

千々和久幸（横浜歌人会代表委員）

1937年生まれ、福岡県生まれ。1956年、大学在学中に「香蘭」入会。以後、無休詠で「香蘭」一筋に短歌を詠む。1981年に選者、2001年より代表。一方、短歌への恋着と憎悪から、1961年に詩誌「沙漠」に参加し以後、「砦」「九」等に拠り詩作を継続。歌集『水の駅』ほか4冊。詩集『ダイエット的21』他3冊。歌書に『短歌という負い目』。